

受講番号					
------	--	--	--	--	--

令和 8 年度

登録道路等法面保護基幹技能者認定試験

<注意事項>

1. 開始の合図があるまで開かないでください。
2. 試験時間は 14 : 15～15:55 の 100 分です。
3. 試験問題は、択一式と記述式に分かれていますので、時間配分に留意してください。
4. 開始の合図があったら、問題用紙および解答用紙 2 に受講番号を記入してください。また、別紙の解答用紙-1（マークシート）に氏名と受講番号を記入し、受講番号欄の下の該当する数字（受講番号）も塗りつぶしてください。
5. 問題は、択一式問題-1～25 の 25 問、記述式問題 1 問となっております。
6. 択一式問題には、「適切なものを選びなさい」と「適切でないものを選びなさい」の問いかけがありますので、よく注意し正答と思われるものを一つ解答してください。
7. 問題-1～25 の解答は、別紙の解答用紙-1（マークシート）に記入してください。マークシートは鉛筆で明確に塗りつぶしてください。これは機械で読み取りますので、汚したり折り曲げたりしないよう注意してください。
8. 記述式問題の解答は、解答用紙-2 に横書きで記入してください。
9. 問題冊子の末尾にメモ用紙があります。試案の作成、試算などに使用してください。メモ用紙は切り離さずに、問題冊子と一緒に提出してください。
10. 氏名、受講番号の記入漏れがないか確認してください。

【※択一式問題と記述式問題は、合格するためには、それぞれに一定水準の得点が必要です。】

令和 8 年 6 月 24 日 福岡会場



一般社団法人 全国特定法面保護協会

問題 1. 登録基幹技能者に求められる能力の記述で**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 専門的な作業能力のみならず、企画・マネジメント・教育指導など幅広い分野における多彩な能力が求められる。
- (2) 出来上りの点検や工事の是正および一般技能者を指揮・監督できる十分な作業能力を有している。
- (3) 元請けの技術者が示す施工計画書に基づき、現場に適した技能面からの施工方法、作業手順、工夫等の提案能力を有している。
- (4) 未熟な作業員を一般の作業員までレベルアップさせる O J T に関しては、専門の技術者が実施するため、現場のまとめや効率的な作業を実施する管理能力を有していれば良い。

問題 2. 登録基幹技能者に必要な資質の記述で**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) リーダーとして、約束を守ることで信頼が得られる。
- (2) 実行する前に、理論や理屈で部下を説得する。
- (3) 仕事に信念を持ち、常に現場では決断力をもって行動する。
- (4) 厳しい指導の中でも温かい配慮こそが肝要である。

問題 3. O J T 指導教育の基本知識に関する記述のうち、**適切でないもの**を選びなさい。

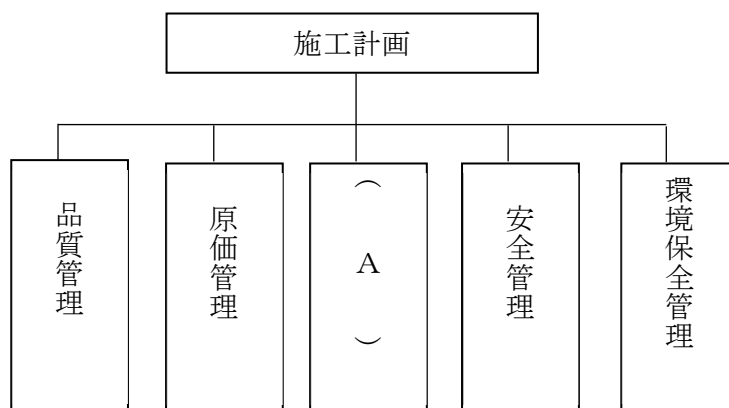
- (1) 信頼とコミュニケーション
- (2) 適性に合わせた指導育成
- (3) 継続的に日常的に実施
- (4) 組織風土にあった職務能力の育成

問題 4. 適用除外申請を行わない場合に、社会保険の加入義務に関する次の表の (A) と (B) に当てはまる語句として、**適切な組み合わせ**を選びなさい。

事業所の形態	常用労働者の数	就労形態	健康保険	年金保険	雇用保険
法人	1人～	常用労働者	協会けんぽ	厚生年金	加入
	-	役員等	協会けんぽ	厚生年金	適用除外
個人事業主	5人～	常用労働者	(A)	(B)	加入
	1～4人	常用労働者	国民健康保険	国民年金	加入
	-	一人親方	国民健康保険	国民年金	適用除外

- (1) A : 国民健康保険 B : 国民年金
- (2) A : 協会けんぽ B : 国民年金
- (3) A : 協会けんぽ B : 厚生年金
- (4) A : 国民健康保険 B : 厚生年金

問題 5. 施工計画に関する次の図の (A) に当てはまる語句として、適切なものを選びなさい。



- (1) 設計管理
- (2) 図面管理
- (3) 工程管理
- (4) 文書管理

問題 6. 仮設備計画の指定仮設と任意仮設に関する記述として適切なでないものを選びなさい。

- (1) 指定仮設は、設計仕様、数量、設計図面などが明示されている。
- (2) 指定仮設は、設計変更の場合、契約変更の対象となる。
- (3) 任意仮設は、仕様が明示されていないか、参考資料扱いになっている。
- (4) 任意仮設は、設計変更の場合、契約変更の対象となる。

問題 7. 工程・原価・品質の相互関連性に関する記述のうち適切なものを選びなさい。

- (1) 工程と原価の関係は、施工速度を上げると出来高が増え原価は安くなるが、さらに速度を上げると突貫作業となり、逆に原価は高くなる。
- (2) 原価と品質の関係は、一般的に品質を良くすると原価は下がる。
- (3) 品質と工程の関係は、一般的に品質を良くすると原価は高くなるが、施工速度は速くなる。
- (4) 原価、工程、品質の管理は、それぞれ独立したもので、相互に関連性はない。

問題 8. 次の文章の (A) と (B) に当てはまる語句として、適切な組合せを選びなさい。

「建設副産物」とは、建設工事に伴い副次的に得られた (A) であり、再生資源及び (B) を含む。

- (1) A : そのまま原材料となるもの B : 建設発生土
- (2) A : そのまま原材料となるもの B : コンクリート塊
- (3) A : すべての物品 B : 廃棄物
- (4) A : すべての物品 B : 建設発生土

問題 9. 工程管理において、PDCA サイクルを用いて管理する際の記述のうち適切なでないものを選びなさい。

- (1) Plan ⇒ 計画を立てる。
- (2) Do ⇒ 計画に基づき実施する。
- (3) Check ⇒ 計画と実施を比較検討する。
- (4) Action ⇒ 報告書を作成する。

問題 1 0.のり面工事において、作業計画、工程計画をする際の事前調査事項として**適切なもの**を選びなさい。

- (1) 突貫工事となるような施工速度を極端に早め施工ができるかを検討する。
- (2) 現場周囲の地形踏査を行い、ロープ設置箇所、昇降設備・作業通路、施工箇所と下方状況などを確認する。
- (3) 地層、表土、浮石などの状況は、どの現場でも同様と考え工程への影響を考慮しない。
- (4) 資機材搬入道路は、近接道路、交通量の状況を確認し工程を最優先させ決定する。

問題 1 1.現場の円滑な工程管理を行う際の記述のうち**適切なもの**を選びなさい。

- (1) 作業内容を明確に記載された当初の工程表で工程管理を行う。
- (2) 工程短縮を最優先事項として工程管理を行う。
- (3) メリットを理解した工程表で工程管理を行う。
- (4) 品質などの工程能力図の測定値を並び替えて工程管理を行う。

問題 1 2.資機材管理計画に関して工事を円滑に運営するための対応として、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 規格・仕様に適合した品質の資材を適正な価格で発注する。
- (2) 現場で使用する資機材は、現場着手前に全数を指定した場所へ搬入する。
- (3) 資材の形状等に合わせた保管管理を行う。
- (4) 資機材置場の適切な場所の選定と場内の整理整頓を行う。

問題 1 3.原価管理のポイントに関する記述のうち**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 見積書の作成
- (2) 見積原価の管理
- (3) 実行予算の作成
- (4) 予算実績管理

問題 1 4.予算実績管理に関する次の文の（ A ）に当てはまる語句として**適切なもの**を選びなさい。

建設会社の経営は、元請工事であろうと下請工事であろうと、各工事現場から生み出される（ A ）によって成り立っている。工事現場から予定していた（ A ）が出なければ、会社経営は厳しくなってしまう。会社が求める（ A ）を確保するためには、各工事現場ではしっかりと原価管理を行うことが必要である。

- (1) 利益
- (2) 品質
- (3) 創意工夫
- (4) 安全

問題 1 5.QC 7つ道具に関する次の記述の（ A ）に当てはまる語句として、**適切なもの**を選びなさい。

特性要因図、チェックシート、層別、パレート図、管理図、（ A ）、散布図

- (1) 工程表
- (2) ダイアログボックス
- (3) ヒストグラム
- (4) タイムテーブル

問題 16. 品質の特性に関する記述のうち、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) JIS 規格とは、産業標準化法に基づき制定される国家規格である。
- (2) ISO 規格とは、国際標準化機構によって策定された国際標準規格である。
- (3) ISO25010 は、ソフトウェア製品の品質を評価するための国際標準規格である。
- (4) JASS とは、経済産業省が定めている工業規格の仕様書である。

問題 17. 統括安全衛生責任者が統括管理すべき記述のうち、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 作業方法の決定と作業員への直接指揮
- (2) 作業間の連絡および調整
- (3) 関係請負人が行う作業員の安全衛生教育に対する指導・援助
- (4) 工程計画、機械・設備等の配置計画の作成と使用に関する指導

問題 18. 墜落防止対策の基本に関する記述のうち、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 作業床は、幅 40 cm 以上とし、かつ、床材のすき間は 3 cm 以下とする。
- (2) 作業床の設置が困難な場合は、落下ネットの設置と墜落防止器具を使用する。
- (3) 高さが 2m から 3m の足場組立を行う場合、作業床を設置しなくてもよい。
- (4) 手すりは床面から高さ 85 cm 以上で、中さんと必要に応じ幅木を設ける。

問題 19. リスクアセスメントに関する記述のうち、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 予想したリスクそれぞれについて小さなものから順に、許容できないリスクはすべて対策をたてる。
- (2) 洗い出したリスクそれぞれはどの程度の頻度で発生するのか、どのくらいの怪我、病気になるかなどのリスクの大きさを予想（見積り）する。
- (3) 作業を始める前に（計画段階で）、その作業に潜むリスク（危険な物、有害な物）を洗い出す。
- (4) 作業前に対策を実施し、許容できないリスクを減らす。

問題 20. 切土のり面に木本型群落の形成を目的とした設計を行う際の播種工および植栽工の留意事項として、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 播種工では、緑化目標が草地型（または草本型）の場合に比べて、草本植物の発生期待本数を少なくするのがよい。
- (2) 播種工で常緑広葉樹主体の群落を造成する場合は、緩効性肥料を用いて肥沃な生育基盤とするのがよい。
- (3) 植栽工では、苗木より成木のほうが適応力に優れているため、成木を用いるのがよい。
- (4) 初期の浸食が懸念される場合は、植栽工の単独施工は避け、草本植物の播種工を併用するのがよい。

問題 21. 法枠工の種類を選定における留意点として、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 小断面のプレキャスト枠工は、浸食防止や中詰工の固定・保持を目的として用いられる。
- (2) 小断面のプレキャスト枠工は、一般には 1 : 0.8 より急勾配で、のり長 10m 以下ののり面で使用する。
- (3) 現場打コンクリート枠工は、浸食防止や中詰工の固定・保持のほかに、表層すべり抑制の対策として用いられる。
- (4) 吹付枠工は、割れ目の多い岩盤のり面、整形が困難な凹凸の多いのり面で多く適用される。

問題 2 2.モルタル吹付工の品質管理における配合計画の留意点として**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) モルタル吹付工の設計基準強度は、 15N/mm^2 以上を標準とする。
- (2) 細骨材の粗粒率は2.5～3.1の範囲を標準とする。
- (3) 吹付モルタルの単位セメント量は 400 kg/m^3 以上を標準とする。
- (4) 水セメント比 (W/C) は65%以下を標準とする。

問題 2 3.吹付砕工のモルタルの品質管理についての記述として**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 吹付モルタルの圧縮強度試験用供試体は、施工と同様のモルタルをモールドに詰めて作製する。
- (2) 吹付モルタルの圧縮強度試験用供試体は、気中養生を基本とする。
- (3) 普通ポルトランドセメントを用いた場合、材令7日で圧縮強度を判断する場合には材令28日強度の70%以上であることを確認する。
- (4) 早強ポルトランドセメントを用いた場合、材令7日で圧縮強度を判断する場合には材令28日強度の95%以上あることを確認する。

問題 2 4.のり面ロープ高所作業の定義に関する記述のうち、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 身体保持器具はバックサイドベルト、墜落制止用器具はフルハーネス型安全帯である。
- (2) 昇降器具により身体を保持しつつ行う作業。
- (3) 40° 未満の斜面における作業を除く。
- (4) 高さ3メートル以上の作業床を設けることが困難なところで昇降器具を用いての作業。

問題 2 5.のり面ロープ高所作業における危険防止に関する記述のうち、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 身体保持器具を取り付けたロープ以外にライフラインを設置する。
- (2) メインロープとライフラインは堅固な同じ支持物に緊結する。
- (3) ロープや緊結具、身体保持器具、接続金具等は十分な強度を有するものを使用する。
- (4) 突起物や接触によってロープが切断するおそれがある箇所は、切断防止措置を行い使用する。

【記述式問題】

あなたが申請時において「実務経験証明書」に記載したのり面工事について、発注者（事業主体）、施工場所（都道府県名）、工事名、工期、およびその工事に含まれていたのり面工の工種を指定の枠内に記述しなさい。

次に、①現場遂行上の課題を挙げ、それに対して②実施した対応（創意工夫を含む）とその対応を採用した理由、および③その結果や評価、後の現場管理に反映した点について、具体的に400字以内で述べなさい。

現場の状況を分かりやすく説明するため、簡単な絵を解答欄内に小さく記入してもかまいません。※ただし、枠内に記入すること（ポンチ絵を含む）。枠外への記述は、減点となる場合があります。

メモ用紙

メモ用紙